

米国の Vessel General Permit プログラムに関する最新情報

Update on the US Vessel General Permit Program – It's all in the details

米国環境保護庁が公表した Vessel General Permit の次期バージョン

米国環境保護庁 (Environmental Protection Agency [EPA]) は、2008年にVessel General Permit [VGP]プログラムを実施し、船舶環境規制の分野に初めて乗りだしました。同プログラムは、船舶排水に関する多様な規則、手続き、基準から構成されており、バラスト水のほか、防汚塗料の染み出し、甲板の洗浄水と雨水、「生活雑排水」と汚水の排出、ボイラーブローダウン水、主消火主管系統、チェーンロッカー排水、ガスタービン洗浄水、ソナードーム排水、機械の非油性廃水を含む26種類の排水 (油性物質・有害物質の流出を除く、考え得る実質的にすべての種類の船舶からの汚染物質) を対象としています¹。

2008年 VGP は、2013年 12月 19日に失効します。このほど、米国 EPA は、VGP の次期バージョンを発表しました。このバージョンは、2008年 VGP の失効後直ちに発効し、2018年 12月 19日まで効力が続くものです。米国領海を航行する船舶は、定められた基準を満たし、要求された記録を維持管理してさえいれば、自動的に当該 VGP に遵守できることとなります。

2008年 VGP の場合と同じく、エネルギー施設、採鉱施設、保管施設もしくは海産物加工施設として使用される船舶、または許可を条件として海底に固定される船舶、または鉱物・原油の探索もしくは開発を目的としてブイに固定される船舶は、2013年許可の対象にはなりません。

¹ 2008年版の許可プログラムを確認するには、Gard News194号の掲載記事「[US Vessel General Permit – The case of the reluctant regulator](#) (米国の Vessel General Permit- 気乗りのしない監督機関の場合)」(英文のみ)を参照してください。

全長 79 フィート (約 24.08 メートル) 未満の船舶は、2013 年中に EPA が発行する特別小型船舶議定書 (Small Vessel General Permit [sVGP]) の対象となる可能性があります。

変更の概要

VGP の新しいバージョンの変更点の概要は以下のとおりです。

- バラスト水の排水限量に関する基準が定められていますが、基本的には、2012年に交付された米国沿岸警備隊 (US Coast Guard [USCG]) の基準に従ったものといえます。
- 船舶上のバラスト水処理システムの適切な機能を確認することという要件が追加されました。
- 侵入生物種の持ち込みの防止に関し、五大湖内の船舶に対する管理手順が追加されました。
- 海洋境界面への油の排出と排ガススクラバー洗浄水に関する排出限度が厳しくなりました。
- 新しい報告要件が追加されるとともに、電子的方法による記録管理が許容されるようになりました。

法令遵守

VGP を逸脱しないように慣行と手順を変更し、VGP の要件に沿って記録を保持できるようになるまでには数か月を要します。そのため、米国の VGP が適用される船舶運航業者は、新しい VGP を確実に遵守できるように、当該 VGP に関する入手可能な最新の資料に目を通しておく必要があります。また、米国 EPA は、USCG が他の種類の船上検査を実施する際には VGP の遵守状況についても調べるという協定を USCG との間で締結していることにも注意する必要があります。

VGPプログラムに関する EPA のガイダンス資料は、以下のリンクからご覧いただけます。
<http://cfpub.epa.gov/npdes/vessels/vgpermit.cfm>.

2013年 VGP は、法令遵守に関する課題を投げかけるものです。したがって、EPA は、法令遵守を支援し、許可に関する重要な詳細情報（許可の概要、許可に基づく認可の取得方法、監視・報告要件、追加のリソースを含む）を提供することを目的に、近々、追加のガイダンス資料を発行する予定であることをウェブサイト上で報告しています。

その一方で、2013年VGPは、以前の2008年VGPをベースに論理的な拡張が行われたものです。そのため、船舶運航業者は、既に2008年版で実施済みの慣行に基づくことで、容易に法令遵守手順を更新できるはず²。

² 2008年 VGP の情報については、以下の掲載記事を参照してください。

- Gard News194号（2009年5月/7月）「[US Vessel General Permit – The case of the reluctant regulator](#)（米国の Vessel General Permit-気乗りのしない監督機関の場合）」（英文のみ）、
- Gard News199号（2010年8月/10月）「[‘The Enforcers’ – US Coast Guard to prepare to monitor the Vessel General Permit Program](#)（『執行者』-USCG、Vessel General Permit プログラムを監視する構え）」（英文のみ）、
- P&I メンバーサーキュラーNo 9/2008「[US Environmental Protection Agency \(EPA\) Vessel General Permit \(VGP\) requirements](#)（米国環境保護庁の Vessel General Permit (VGP) 要件）」（英文のみ）、
- No. 10/2008「[US Environmental Protection Agency \(EPA\) Vessel General Permit \(VGP\) requirements](#)（米国環境保護庁の Vessel General Permit (VGP) 要件）」（英文のみ）、
- ロスプリベンションサーキュラーNo. 04-11「[米沿岸警備隊、米領海内の船舶に対する米環境保護庁の Vessel General Permit プログラムの適用を強化](#)」、
- Gard アラート 2011年10月「[US EPA – Vessel General Permit \(VGP\) one time report electronic system now available](#)（米国 EPA-Vessel General Permit (VGP) の一括報告電子システムが利用可能に）」（英文のみ）